

平成 29 年度事業報告

平成 29 年 4 月 1 日から
平成 30 年 3 月 31 日まで

一般社団法人 環境情報科学センター

平成 29 年度事業報告

平成 29 年度に実施した事業は次のとおりである。

I. 事業報告

1. 出版事業

1.1 「環境情報科学」の発行

- ・機関誌「環境情報科学」を計 4 回発行し、会員に配布した。
- ・各号については編集委員会において特集テーマを定め、当該分野の研究者等の寄稿による最新の知見等の特集記事として掲載した。また、査読付き審査を経て採択となった会員からの投稿による研究論文 3 編・報告 2 編を掲載した。特集テーマ・発行時期については以下の通りである。
- ・47 巻 1 号では、平成 29 年 12 月に開催した公開シンポジウムとワークショップの内容を特集記事として掲載した。また、環境政策に関する連載企画「環境政策の最前線」の開始に向けて、関係者を交えて座談会を行い、その内容を本号に掲載した。
 - ① 46 巻 2 号 土壌汚染対策とリスクを考慮した管理施策に向けて (平成 29 年 6 月 30 日発行, pp. 86)
 - ② 46 巻 3 号 1.5°C と 2°C 気候変動「パリ協定」目標の意味と実現への道筋 (平成 29 年 10 月 30 日発行, pp. 110)
 - ③ 46 巻 4 号 長期的環境ガバナンスに向けた道具と仕組みの開発 (平成 29 年 12 月 27 日発行, pp. 66)
 - ④ 47 巻 1 号 特集①公開シンポジウム「SDGs の達成に向けた多様な環境研究の取組みと今後への期待」
特集②ワークショップ「涼しいまちをデザインしよう」
座談会「持続可能な社会づくりに向けた環境政策と環境研究の連携」
(平成 30 年 3 月 30 日発行, pp. 126)

1.2 「環境情報科学学術研究論文集」の発行

- ・査読付き審査を経て採択となった環境情報科学に関する 55 編の研究論文を掲載した「環境情報科学学術研究論文集 31」を発行した (平成 29 年 11 月 29 日発行: 316pp.)。なお、冊子版は希望者に有償で販売した。
- ・本論文集は、科学技術振興機構の J-Stage 上に掲載論文の全文を公開した。

1.3 「Journal of Environmental Information Science」の発行

- ・査読付き審査を経て採択となった環境情報科学に関する英文の研究論文等を掲載した電子ジャーナル「Journal of Environmental Information Science」を発行し、下記の通り科学技術振興機構の J-Stage 上に公開した。
 - ① Vol. 2017, No. 1: 掲載論文 3 編, 平成 29 年 9 月 29 日発行, 36pp.
 - ② Vol. 2017, No. 2: 掲載論文 5 編, 平成 30 年 3 月 26 日発行, 57pp.

2. 表彰事業

2.1 第 17 回環境情報科学センター賞の表彰・報告

第 17 回環境情報科学センター賞の表彰式を平成 29 年 6 月 26 日に主婦会館 (東京 四谷) にて開催し、学術論

文奨励賞2件・特別賞2件の各受賞者を表彰した。なお、受賞報告を機関誌「環境情報科学」46巻3号に掲載した。

2.2 第18回環境情報科学センター賞受賞者の決定

審査・選考を経て、平成29年度の環境情報科学センター賞の受賞者を以下の通り決定した。

◆**学術論文賞**：「国内に放置された森林を中心とする資産の実態解明に関する一連の研究」
(片野洋平 氏：鳥取大学農学部生命環境農学科)

◆**特別賞**：「地域のCO₂濃度調査に基づく環境教育の実践と国際貢献」
(名古屋産業大学環境教育研究プロジェクト)

2.3 第14回環境情報科学ポスターセッションにおける優秀ポスターの表彰

平成29年12月に開催した第14回環境情報科学ポスターセッションにおいて、審査の結果、優秀なポスター発表を行った以下の9題を表彰した。

賞名	区分	タイトル	発表者 (筆頭)	所属
理事長賞	学生	津波で失われた町並みの3次元再現モデルを用いた景観認識・記憶に関する研究	斉藤真里佳	筑波大学生命環境科学研究科
理事長賞	学生	地域における廃プラスチックリサイクルのMFA分析—川崎エコタウンを対象に—	井守勇太	横浜国立大学経営学部 会計・情報学科
学術委員長賞	学生	建物体験時の築年数に基づく物質滞留年数の要因分析—北九州市4d-GISを用いて	正木晃平	名古屋大学工学部 環境土木・建築学科
学術委員長賞	学生	水使用量のフィードバックがその後の水使用量に与える影響—水資源の共有材としての意識化—	天坂有希	お茶の水女子大学生生活科学部人間環境科学科
事務局長賞	学生	ねぐら入り観察会を通じたツバメの保全意識向上に向けた研究	長 優里奈	日本大学生物資源科学部くらしの生物学科
事務局長賞	学生	東京都内の河川等から分離される薬剤耐性菌—耐性薬剤とその分布—	岩井拓海	中央大学法学部政治学科
理事長賞	一般	健康づくりのためのウォーキング環境の評価ツールの開発	尾崎 平	関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科
学術委員長賞	一般	市民が活用できる生物指標「地域の環境もさし」の提案—環境保全活動の自律評価と継続に向けて	浅野悟史	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
事務局長賞	一般	市街地の路傍に生育するシダ植物リュウキュウイノモトソウの気候変動指標化に関する研究	村上健太郎	北海道教育大学教育学部国際地域学科

3. 研修・講演会事業

3.1 論文執筆支援セミナーの開催

参加対象者を CEIS 論文集に投稿予定の方、論文投稿についてより実践的に学びたい方と、論文執筆の基礎を学びたいと考えている方を対象に、実践編と導入編の2回に分けてセミナーを開催した。

- ① (第3回) 論文執筆支援セミナー<実践編>
日 時：平成29年4月21日(金) 18:30~20:15
場 所：環境情報科学センター会議室
参加者：39名(会員20名・非会員19名)
- ② (第4回) 論文執筆支援セミナー<導入編>
日 時：平成29年10月24日(火) 18:00~20:00
場 所：環境情報科学センター会議室

参加者：36名（会員12名・非会員24名）

3.2 第30回環境情報科学学術研究論文発表会の開催

環境科学に関する55題の研究論文発表、境科学に関する47題のポスターセッションのほか、暑熱適応に関するワークショップならびにSDGsをテーマにした一般公開シンポジウムを同時開催した。なお、ポスターセッションでは審査の上優秀なポスター発表を行った9題を選考し、研究者交流会にて表彰した。

- ・日時：平成29年12月8日（金）9:25～19:00（受付開始9:00）
- ・内容：①環境科学に関する研究論文発表55題（内 口頭発表47題・ポスター発表8題）
②環境科学に関するポスターセッション47題
③ワークショップ「『涼しいまちをデザインしよう』ークールスポットからクールエリアへの展開ー」
④一般公開シンポジウム「SDGsの達成に向けた多様な環境研究の取り組みと今後への期待」
⑤研究者交流会
- ・参加人数：210名<内訳 会員161名・非会員49名>（前年度192名：会員157名・非会員35名）
※交流会参加者 約70名
- ・プログラム詳細：

(1) ワークショップ「涼しいまちをデザインしよう」ークールスポットからクールエリアへの展開

1) 報告（各10分程度）

- ①三坂育正氏：日本工業大学 建築学科 教授（涼まち研主査）
暑熱適応による効果と「涼しいまちづくりデザインガイドブック」の作成
 - ②吉川圭子氏：環境省 水・大気環境局大気環境課大気生活環境室 室長
環境省における暑さ対策の取り組み
 - ③森立史氏：東京都 環境局地球環境エネルギー部環境都市づくり課 課長代理
東京都における暑さ対策の取り組みークールエリアの形成に向けてー
 - ④村上孝憲氏：三菱地所株式会社 開発推進部 専任部長 エリアマネジメント推進室
大丸有（だいまるゆう）地区における暑さ対策の取り組み
 - ⑤太田勇氏：株式会社ミサワホーム総合研究所 環境エネルギーセンター長
住宅地におけるクールエリア創出事例
- 2) 討論（40分程度） 司会：三坂育正氏 パネラー：各報告者

(2) 一般公開シンポジウム「SDGsの達成に向けた多様な環境研究の取り組みと今後への期待」

【総合司会】荒井 眞一氏：環境情報科学センター常務理事（一般社団法人低炭素社会創出促進協会）

- 1) 開会挨拶 大塚 直氏：環境情報科学センター理事長（早稲田大学法学部教授）
- 2) 特別講演 15:05～15:20
森下 哲氏：環境省地球環境局長
「SDGsの達成に向けての政府の取り組みとステークホルダーの役割」
- 3) 基調講演 15:20～15:50
蟹江 憲史氏：慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授・UNU-IAS シニアリサーチフェロー
「SDGsの推進とアカデミアへの期待」
- 4) テーマ別講演 15:50～16:35（各15分）
「気候変動分野」 亀山 康子氏：国立環境研究所社会環境システム研究センター副センター長
「資源・物質循環分野」 谷川 寛樹氏：名古屋大学大学院環境学研究科教授
「自然環境保全分野」 藤稿 亜矢子氏：東洋大学国際観光学部准教授
- 5) パネルディスカッション 16:35～17:20
モデレーター 竹内 恒夫氏：名古屋大学大学院環境学研究科教授
パネラー 蟹江 憲史氏：（前掲）
藤稿 亜矢子氏：（前掲）
谷川 寛樹氏：（前掲）
亀山 康子氏：（前掲）
- 6) 閉会挨拶 藤田 八暉氏：環境情報科学センター常務理事（久留米大学名誉教授）

3.3 環境サロンの開催

①第136回環境サロン<見学会>「日本農業遺産に認定されるまでの三芳町の歩み」

日時：平成29年5月22日（月）13:30～16:15

場所：三芳町役場・三富新田（埼玉県三芳町）

参加人数：25名（会員12名・非会員13名）

②第137回環境サロン「ラムサール条約登録湿地を目指した葛西海浜公園～大都市と自然の共生」

日時：平成30年2月24日（土）14:00～16:00

講 師：中村忠昌 氏 (NPO 法人生態教育センター 主任指導員)

場 所：葛西海浜公園

参加人数：15 名 (会員 7 名・非会員 8 名)

③第 138 回環境サロン「生産緑地制度をめぐる状況と都市農地保全について」

日 時：平成 30 年 3 月 27 日 (火) 18：00～20：00

講 師：北沢俊春 氏 (東京都農業委員会ネットワーク機構・東京都農業会議事務局長)

場 所：環境情報科学センター会議室

参加人数：25 名 (会員 15 名・非会員 10 名)

4. 学術活動の活性化

会員間の議論を活性化するため、第 30 回環境情報科学学術研究論文発表会において、ワークショップ「『涼しいまちをデザインしよう』ークールスポットからクールエリアへの展開ー」ならびに、一般公開シンポジウム「SDGs の達成に向けた多様な環境研究の取組みと今後への期待」を開催した。

5. 調査研究事業

平成 29 年度は主に下記の調査研究等を受託し、実施した。

受注先	件 名
環境省	平成 29 年度淡水域におけるマイクロプラスチックに関する文献調査業務
環境省	平成 29 年度マイボトル・マイカップの普及啓発及び組織における導入調査等業務
環境省	平成 29 年度化学物質情報検索支援のための情報収集・整理及び課題検討等業務
環境省	平成 29 年度黄砂による健康影響調査検討業務
環境省	平成 29 年度化学物質アドバイザー関連事業業務
環境省	平成 29 年度ヒートアイランド現象に対する適応策検討調査業務
環境省	平成 29 年度暑熱環境に関する適応策基礎調査業務
環境省	平成 29 年度慢性砒素中毒症に関する健康影響調査業務
環境省	平成 29 年度環境保健サーベイランス調査に係る集計 (3 歳児)、並びに解析及び環境評価 (3 歳児及び 6 歳児) に関する委託業務
環境省	平成 29 年度エコチル調査に関する企画評価等実施業務
環境省	平成 29 年度化学物質情報検索支援システム運用・保守等業務
環境省	平成 29 年度容器包装リサイクル法に基づく市町村ごとの平成 28 年度分別収集量等集計業務
国立環境研究所	平成 29 年度子どもの健康と環境に関する全国調査 (エコチル調査) 説明会運営補助業務
国立環境研究所	第 18 回倫理問題検討委員会における委員会等運営補助業務
国立成育医療研究センター	平成 29 年度エコチル調査に関するアウトカム測定方法等の検討支援業務
環境再生保全機構	公害健康被害予防事業の実施効果測定と実態把握調査等業務 (H29 年度分)
環境再生保全機構	石綿健康被害救済制度の被認定者の介護等の実態調査調査票の集計関連業務
川崎市	平成 29 年度公害防止調査研究業務

川崎市	環境技術・国際連携プロジェクト支援業務委託
民間企業	環境マネジメントシステム (EMS) 運用支援業務
民間企業	グリーン調達データベース作成等支援業務・環境マネジメントシステム運用支援業務
民間企業	疫学調査に関する広報等実施支援業務
民間企業	Web コンテンツ等作成業務
民間企業	LCA 関連コンサルティング業務
民間企業	暑熱対策技術的助言業務
民間企業	暑熱観測測定データ整理・解析業務
民間企業	暑熱観測に関する観測データ評価業務
民間企業	化学物質のハザード評価・リスクアセスメント、管理者の支援業務
民間企業	高遠コンサベーション・プログラム

6. その他

6.1 ガバナンスの強化について

各委員会間の連携を強化し、より有機的な委員会体制を構築する目的のもと、委員会規約の一部を変更した。

6.2 他団体主催事業への後援等

以下の行事について後援・協賛した。

①第30回日本リスク研究学会年次大会

開催日：平成29年10月27日～10月29日

場 所：滋賀大学 彦根キャンパス（滋賀県）

主 催：（一社）日本リスク研究学会

②平成29年度多摩市身のまわりの環境地図作品展

開催日：平成29年12月1日～12月3日

場 所：パルテノン多摩 市民ギャラリー・特別展示室

主 催：多摩市身のまわりの環境地図作品展運営委員会

当センター理事長賞を多摩市立南鶴牧小学校2年の富所まどかさんによる作品「高さしらべ」に授与した。

③エネルギー特別講座「気候変動リスクとその対応戦略」

開催日：平成29年12月4日

場 所：京都テルサ（京都府）

主 催：（一社）エネルギー・資源学会

④シンポジウム「交通騒音に対する住宅の遮音性能 ―航空機騒音対策を例にして―」

開催日：平成30年2月1日

場 所：江東区深川江戸資料館（東京都）

主 催：（公社）日本騒音制御工学会

II. 会員の増減

平成29年度末における会員数等は次のとおりである。

会員 区分	平成28 年度末 (口数)	入会 者数 (H28年度)	退会 者数 (H28年度)	年間増減数 (転格者等含 む)	平成29 年度末 (口数)
正会員 ＜内シニア会員＞	957 ＜28＞	51	-93	-37	920 ＜30＞
名誉会員	5	-	-	0	5
準会員	112	52	-44	10	122
賛助会員	32 (34)	5	-1	4	36 (38)
購読会員	81 (83)	0	-10	-10	71 (73)
計	1,187	108	-148	-33	1,154

III. 総会・理事会・各委員会の開催

平成29年度における総会・理事会・各委員会等の開催は次のとおりである。

1. 社員総会の開催

開催日：平成29年6月26日(月) 14:00～14:45
 会場：主婦会館プラザエフ(東京 四ツ谷)
 議題：第1号議案 平成28年度事業報告
 第2号議案 平成28年度決算報告
 第3号議案 平成29年度事業計画(案)
 第4号議案 平成29年度予算計画(案)
 第5号議案 役員の報酬等の支給の基準の改定(案)
 第6号議案 役員の選任(案)
 出席会員(委任状を含む)：503人

2. 理事会の開催

- ①開催日：平成29年5月8日(月) 18:00～20:15
 会場：環境情報科学センター 会議室
 出席理事 14名・出席監事 2名
- ②開催日：平成29年6月26日(月) 16:00～16:30
 会場：主婦会館プラザエフ 8F 会議室
 出席理事 10名・出席監事 2名
- ③開催日：平成29年9月6日(水) 18:00～20:05
 会場：環境情報科学センター 会議室
 出席理事 14名・出席監事 2名
- ④開催日：平成29年12月21日(木) 18:00～20:00
 会場：環境情報科学センター 会議室
 出席理事 14名・出席監事 1名
- ⑤開催日：平成30年3月14日(水) 18:00～20:00
 会場：環境情報科学センター 会議室
 出席理事 12名・出席監事 2名

3. 審議員会議の開催

開催日：平成29年5月8日(月) 16:30~17:45
会 場：環境情報科学センター 会議室
出席議員：7名

4. 委員会の開催

- (1) 総務委員会 5回(平成29年4月28日・7月21日・9月6日・10月6日・平成30年3月9日)
- (2) 編集委員会 4回(平成29年6月2日・9月5日・12月1日・平成30年3月1日)
- (3) 英文誌刊行等委員会 6回(平成29年5月16日・7月18日・9月7日・10月26日・12月20日・平成30年2月27日)
- (4) 行事委員会 2回(平成29年11月25日・平成30年2月10日)
- (5) 学術委員会 2回(平成29年10月20日・平成30年3月5日※)
- (6) 論文審査委員会 11回(平成29年5月10日・5月24日・6月22日・6月29日・7月27日・8月18日・10月3日・10月12日・12月13日・平成30年1月31日・3月15日)
- (7) 環境情報科学センター賞選考委員会 2回(平成30年1月29日・3月6日)
<メール委員会・web会議を含む>

※学術委員会において、web会議システムを使った委員会を試行的に開催した。